

中国・同済大学浙江学院の学生が当社を訪問 ～新開発製品や自動車用防振ゴム評価施設を見学～

東海ゴム工業株式会社（本社：愛知県小牧市、代表取締役社長：西村義明）は、中国・浙江省の同済大学浙江学院の学生 10 名が当社を訪問し、開発中の介護支援製品展示コーナーや自動車用防振ゴムの評価施設を見学しましたので、お知らせいたします。



集合写真に納まる
同済大学浙江学院訪問団と当社関係者



当社担当者（左手の2名）の説明を受けながら
介護支援製品を体感する同済大学浙江学院の学生

同大学は、主に技術系人材を多く輩出する教育機関として、中国で広く知られています。今回の当社訪問は、中部大学（愛知県春日井市）が中心に活動している、科学技術における海外人材の発掘・育成事業「日本・アジア青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプラン）」の一環として、実現したものです。

訪問団の一行は、最初に実験施設「テクニカルセンター」で自動車用防振ゴムを本物の自動車に搭載して性能を評価する試験を見学しました。続いて、技術研究棟「テクノピア」では、当社が独自開発したゴム製触覚センサ「スマートラバー（SR）センサ」を活用した介護支援製品を体感しました。当社が創業以来培ってきた高分子材料技術に触れた学生は「防振ゴムの次世代自動車への対応について教えてほしい」「介護支援マットレスの販売時期は？」など、担当者に次々と質問を浴びせていました。

経済のグローバル化の加速が予想される将来、日本の科学技術を担う海外人材の確保は喫緊の課題といえます。当社といたしましても、日本とアジアの活発な人材交流の実現に向け、積極的に取り組んでまいります。

以上

【お問合せ】 広報部 清水直樹 TEL：0568-77-4222